

文化会館利用者懇談会概要（芸術文化団体・鑑賞団体）

日時：平成23年7月11日（月）

午前10時

場所：青年センター 第4・5研修室

〔出席者〕	鶴岡市芸術文化協会舞台部門理事 11名
	藤島芸術文化振興会 2名 羽黒芸術文化協会 2名
	朝日芸術文化振興協会 2名 温海芸術文化協会 2名 鑑賞団体 4名
	社会教育課長 文化主幹 芸術文化主査 芸術文化係長

デザイン、設計者について

- ・デザインより、安全で、利用しやすいことが大事、使う市民の側が会館を風格のあるものにするかどうかである。
- ・デザインはできるだけシンプルに、芸術性よりも質実剛健、鶴岡の気風にあったものに。
- ・外観のデザインよりも使い勝手の良い施設に。この地域の気候を熟知し、細かい要望を聞いてくれるような設計者を選定してほしい。
- ・鶴岡の歴史と風格を刻む、市民の誇りとなる会館に。

舞台・舞台設備

- ・舞台の額縁の大きさはなるべく正方形（18m四方）に近い形に。上の縁（大欄間）が上下するようにして、オペラの場合は上まであげ、芝居の場合は半分まで下げて、というふうに視界を自由に広げたり狭めたりできるとよい。
- ・舞台迫りはいらぬ。道具迫りは上手下手に必要。奈落の深さは4m以上。
- ・舞台迫りをぜひ作ってほしい。花道は広くとってほしい。
- ・舞台の奥行きがあると、袖幕を増やさないと客席から袖がみえてしまうので必要な数をきちっといれてほしい。袖が見えないように東西幕をおろしている会館があるが、出入りに非常にじゃまで危ない。
- ・舞台に釘を打てないなどの制約が多くて使いにくくならないように。
- ・中割りになっている大黒幕があると使いやすい。また、袖幕も中割りになっていると使いやすく、18mの奥行きであれば最低三箇所あると大変利用価値がある。
- ・暗転幕は襷ひだのあるびろうどの厚いものがよい。襷のない、下にパイプが入っている

るタイプのものであるが、幕が下りて来るところを誤って人が歩いてしまった場合、とても危険である。

- ・水平幕は一番奥と真ん中に二枚ほしい。舞台を半分にするのに便利である。
- ・紗幕は白と黒両方ほしい。
- ・美術ボタンは電動だと早さの調節ができないので、手動にしてほしい。綱元は操作盤の近くに。
- ・18mの高さがあると、ボタンを手動にするのは安全上問題があるのではないか。

音響

- ・音響室は客席の一番後ろに。残響は空席時2.0秒、満席時1.6秒。マイクを使用する際は残響は関係ないが、合唱、オーケストラなどはどうしても音響を考えてもらわなければならない。
- ・現文化会館は真ん中より少し前の席では、声が聞きづらいと言われる。肉声がきっちり聞こえるようにしてもらいたい。
- ・音響の専門家とよく連携して作ってほしい。
- ・反射板は大変重いものであり、上に吊ると万が一落下したときに危険なので、舞台の後ろに格納するタイプのものに。

照明

- ・高さが倍になると、1kwで済んでいた照明が、四分の一くらいの明るさになってしまう。高くなったら最低2kw必要。専門家を入れて設計してほしい。

大ホール

- ・客席数は1,000～1,200でよいと思う。二階席は非常に見づらいので、ワンフロアにしてほしい。
- ・客席数は小中学校の利用が1,200席くらいでいっぱいになるので、1,300席で間に合うのではないか。
- ・二階席の下（一階席の一番後ろ）は音響が不安定になるので、ワンフロアが望ましい。
- ・現文化会館での一番の不満は客席の座席である。安心してゆったりと観られる座席を。公演する側も、観てくれる人たちが快適でなければ良い公演にはならない。
- ・座席の色はなるべく地味な色がよい。
- ・前の人の頭が邪魔にならないように、配置をずらす、又は段差をつけるなどして

ほしい。

- ・座席は前も横ももう数センチ広げて「ちどり」に並べてほしい。最前列の席は舞台から3m以上離してほしい。

小ホール

- ・200～250席くらいの小ホールがあれば、能や小唄の公演など、利用価値が高い。
- ・200～300席くらいの小ホールで、紙芝居や人形劇などの公演をしたい。1,000人入るようなホールでは公演は無理である。
- ・小ホールはあれば便利だが、利用頻度は大ホールより少ない。中央公民館が小ホールとして機能しているので、いらぬのではないか。
- ・小ホールは、小さなステージがあるホールではない。ステージの広さは確保した上で、客席数を少なくするのだということを理解していないと、小ホールの議論にならない。

楽屋

- ・舞台脇の一階に小部屋7～10部屋くらい、その上の二階に大部屋が1～2部屋（仕切れるように）、その上の三階にリハーサル室又は練習室という配置に。
- ・現在は畳の小上がりの楽屋があるが、上敷き（畳）を用意して必要なときだけ敷けるようにしたほうが使いやすい。
- ・楽屋の水回りをもっと増やしてほしい。
- ・鏡の上に鉄骨の荷物置き場を作ったほうがよい。
- ・上手、下手両側に二つ以上の楽屋が必要。
- ・メイン（主賓）の楽屋は操作盤の近くに。
- ・作り付けの、等身大の鏡がほしい。

駐車場

- ・大型バスが入ってくると一般車が入りづらいので、一般の駐車場入口と大型バス用の入口を分けられるとよい。
- ・駐車場は全国的にも有料のところが多いので、有料にしてはどうか。最初の一時間は無料、次からは100円といったように料金は安く設定して、利用者に負担してもらったほうがよい。

諸室・諸設備

- ・会議室は、主催者が控え室としても使えるようにロビーの近くに。
- ・練習室の数を確保し、できるだけ市民が活用しやすいように。
- ・リハーサル室は舞台に近いところに。舞台と離れたところにあると、非常に不便である。
- ・鏡付のリハーサル室。
- ・電動のドアは一ヶ所だけで、他の入口は手動に。電源が落ちたときに危険なので、全て電動というのはよくない。
- ・コートを預かるクロークがあればよい。
- ・クロークは、1,000人以上のホールで、何百人もの人が預けて、それを返すということになると大変である。一般客にそこまでのサービスは容易でない。
- ・客席の後ろに防音ガラス張りの託児所を。親子が離れても、子どもも舞台上で何をやっているのかわかるように。
- ・トイレは男女比1：2に。(同意見多数)
- ・施設内の案内表示がわかりやすいよう、工夫が必要。
- ・敷地も多く必要になるが、エントランスホール、ホワイエは広く充実したものに。開場を建物内で待てるようにしてほしい。(同意見多数)
- ・備品は外部から持ち込まなくても済むよう、機器をしっかりと備えてほしい。
- ・搬入口(トラックヤード)は、大型トラック二台が入る程度の広さを確保し、で扉を閉めて荷物の積み下ろしができるように。仕込みする時の利便性を考えて設計してほしい。
- ・福祉都市を名乗っている以上、車椅子の客席は一等地にあると良い。介護する人も車椅子席の脇に座れるように。
- ・障害者の方にもぜひ芸術文化に親しんでいただきたいので、障害者用のトイレを整備してほしい。

その他

- ・今の文化会館を作る前にも相談して、非常に期待してできるのを待ったが、金がないからと舞台が半分に削られて、今まで苦労してきた。そういうことは絶対にならないようにお願いしたい。
- ・鶴岡の地の利にあったものを、必要なものは何かを考えて、安全第一に、見る側も使う側も両方が利用しやすいものを作ってほしい。「建て替えるなら鶴岡を見に行け」と言われるような建物を。

- ・車の出入りが出来る動線を確認するため、商工会館の方に出られるようにすれば、高齢者の方を会館入口まで送って、駐車場まで移動するということがしやすくなる。
- ・今働いているメンテナンスの職員を、新しい会館でも引き続き雇用してほしい。彼らは経験を積み重ねたプロであり、それをゼロにして新しい人を雇用するということになると、会館を使いこなしていい会館にしていくことにならない。
- ・各地では子育てセンターや図書館を併設して節約していこうという流れなのに、文化会館だけを単独で多額の費用をかけて建てるのはとても贅沢である。現在行われている公演が、どんな団体が何人くらいでしているのか状況を把握して、また建てた後どんな団体がどう利用するのかを考えた上で、本当に必要な層が必要な使い方ができる施設を作ってほしい。
- ・活動拠点を設置できる場所がないので、芸術文化団体が自由に使えるような部室があるといい。集まって文化を語り合える拠点となる施設になってほしい。
- ・現在のメンテナンススタッフの意見を十分に聴いて設計をしてほしい。今携わっているスタッフは利用者の本当の声を知っているので、しっかり反映させてほしい。
- ・二年半の休館は長すぎる。学童の成長や、芸術的なことが疲弊しないためにも、せめて一年ですむよう、コンパクトに設計して隣の駐車場に建ててほしい。
- ・酒田も鶴岡も利用頻度は同じだが鶴岡の会館は市民のための会館である。「多目的ホール」は聞こえがいいが、「多目的は無目的」といわれるくらい、どっちつかずのホールになっている。
- ・「整備の基本的な考え方（案）」の「市民参加・協力型の施設を目指す施設」の項目は、整備基本計画ではなく、運営計画に持っていったほうがいいと思う。ボランティアが事業の企画をしている会館があるが、運営の責任はどこまであるのか等、いろいろな課題もあると聞く。運営を任された人たちの負担もかなり大きいので、よく考える必要がある。
- ・「整備の基本方針（案）」の「ユニバーサルデザインに配慮した、誰もが利用しやすい施設」のうち、「ユニバーサルデザインに配慮した」の部分を削り、「利用者にとって快適な設備・空間を備える施設」と一緒にして「利用者にとって快適な施設・誰もが利用しやすい空間を備える施設」としてはどうか。
- ・建った後の維持管理のことも考えて工事は地元の業者に依頼し、利用者団体の声を聞きながら、故障したところはすぐに直せるような、小回りのきく体制に。
- ・希望ホールの舞台は「切床（床全面が畳1枚分ずつの大きさで取り外せて舞台下

と通じる)」になっているが、四隅が反ってしまい、大変な費用をかけて作ってもほとんど使っていないと聞く。そうならないようにしてほしい。

新文化会館建設促進特別委員会アンケート結果

「新文化会館の施設・設備について」

- ・ 鶴岡含め6地域の舞台関係の団体代表、邦楽、邦舞、洋楽、洋舞、音楽、演劇の団体代表の方から全部で59名のステージ部門の団体の方から回答をいただいたものについて報告する。
- ・ 舞台については、57人中、現在より奥行きを1.5倍～2倍にしてほしい、70%、今のままで良い、30%。
- ・ 大ホール客席数は、今の客席数、ワンフロアで二階席を持たないほうがよい27人、1300～1500席13人、800～1000席が4人。二階席希望は12%。
- ・ 楽屋は広く、数も多くしてほしい、48人。現在のままでよい、4人。
- ・ 必要な諸室について一番目はリハーサル室、練習室22人。会議室、食事ができる部屋、22人。待合スペースを広く取る、12人。小ホール、8人。
- ・ その他設備、障害者のための配慮してほしい。バリアフリーにしてほしい。駐車場は出入口を二つにしてほしい。二階席になったらエレベーターを設置してほしい。設計者はこの土地のことを熟知した業者に、などの意見が出た。

文化会館利用者懇談会概要（学校関係）

日時：平成23年7月19日（火）

午後3時

場所：青年センター 第4・5研修室

〔出席者〕	鶴岡南高校吹奏楽研究会顧問	鶴岡北高校音楽部顧問
	鶴岡工業高校吹奏楽部顧問	鶴岡中央高校演劇部顧問
	鶴岡東高校合唱部・吹奏楽部顧問	羽黒高校吹奏楽部顧問
	鶴岡第五中学校合唱部顧問	檜引中学校吹奏楽部顧問
	鶴岡市中学校校長会会長	田川地区高等学校文化連盟代表
	社会教育課長 文化主幹 芸術文化主査 芸術文化係長	

客席規模について

- ・今の状況を見ると700～800席あれば十分という催しが多いが、吹奏楽のコンクールなどでは全然足りない。中央公民館のホールは400しか入らないので、ちょうどいいところがない。新文化会館をどういうふうなスタイルにするのかとても気になる。
- ・学校関係が運営母体となっている催し物では、理想をいえば1500席の大ホール、800席の小ホール、80名くらい入るリハーサル室が2つか3つ、というのが利用しやすい。ホール客席数は1500席くらいだと東北規模の大会を開催できる。2階席3階席はお客さんが少なければクローズして対応することも考えられる。
- ・県民会館が1400席なので、それを超えれば県大会レベルのものは鶴岡でできるのではないかと。全国大会も可能性はある。そうすると宿泊施設や観光の面でも潤うのではないかと。
- ・仮に座席数を現在と同程度とイメージとすると、事実上ステージの張り出しを使うと前の座席は撤去しなければならないし、今は座席も非常に狭いので、限られた敷地の中で客席数を今と同程度確保するには、2階席3階席というのは非常に有効な手段だと思う。用途に応じて2階席3階席をクローズするなどして対応できるようにすれば、よりいろいろな方に利用しやすい環境になる可能性があるのではないかと。
- ・キャパシティは今より大きいほうが、可能性が広がる。ドリームスタジアムも客席が少なくプロの試合はできないと聞いている。観客席や付帯設備が整っていない

るかどうかは、企業の誘致や、鶴岡に来る人がどれだけ増えるのかということにも関わってくると思う。管理や予算の問題も調整しなければならず、希望どおりというのは厳しいと思うが、できる限り検討していただきたい。

諸設備について

- ・学校の現場からすると、大会の際には 60～80 名入るリハーサル室が二つ必要。今は防音扉が狭いため外を通さないと楽器を運べないし、また段差が多いので、なるべくフラットに、移動しやすいようにしてほしい。
- ・現在はバトンが少なくミュージカルが開催されない状況であるので、必要数を確保してほしい。
- ・リハーサル室や練習室には鏡をつけてほしい。
- ・東根のタントクルセンターのように、広めの部屋に 200～300 の可動式の椅子が壁に収納されるタイプの、練習室を兼ねた小ホールを検討していただきたい。
- ・現在の搬入口は冬の雨風がまともにあたる方向なので、考慮してほしい。
- ・希望ホールや響ホールには地元の市民が活動するための小部屋があると聞いた。そういったものも検討してほしい。
- ・車椅子の人が高いところからゆっくり見られるように工夫できないか。体の不自由な方も利用するので、座席の高さ、大きさも工夫していただきたい。
- ・駐車場、主要道路への車の出入りがスムーズにできるように。

ホールのコンセプトについて

- ・鶴岡は合唱や吹奏楽が非常に盛んなところなので、オペラ的なものができるホールを目指していけば合唱、吹奏楽、演劇などの要素を網羅でき、そうするとおのずと舞台や楽屋をどうするか決まっていくのではないかと。音楽のまち鶴岡をさらに発展させていけるようなホールを目指してもらいたい。
- ・酒田はどちらかというと管弦楽用のホール。鶴岡は演劇もさかんなので、オペラができるクラシック系の多目的ホールが有効だと思う。
- ・いろいろな団体の声を聞くようだが、青年団体からポップスコンサートを開催できる若者が集まるような施設をと要望されたときに、全部を両立できるホールは無理だと思う。鶴岡の文化を考えれば、方向性としてオペラができる施設を想定すれば合唱も管弦楽も演劇もカバーされるので、すばらしいと思う。
- ・どういうホールを作りたいのかという理念は非常に大きな問題。座席数もそうだ

が、みんなの意見を聞くことによって作るのと、理念を決めてから作るのとでは違ってくると思う。うまく整理してほしい。

休館期間について

- ・ 中学校高校は、三年サイクルなので、二年半という打撃が大きい。できるだけ満足に音楽活動をさせてあげられるような環境を確保したいので、二年半を縮小することができないのであれば、学校という特殊性に鑑みて、なんとか他のホールとの融通の可能性を探っていただきたい。
- ・ 定期演奏会やコンクール、学校行事も文化会館を使っている。中央公民館は全校生徒が入れるような規模ではないし、二年半ホールが使えないということは、高校三年間まったく使えない生徒がでてくることになる。そういった行事は先輩後輩が少しずつ入れ替りながら引き継ぎ、長年培われているもので、三年間休むと白紙からのスタートになってしまうので、休館はとてもショックである。会館を残しながら新しいものを作ることはできないのか。引き継がれてきた文化が途切れてしまうのは大きな損失で、残念である。
- ・ 使えない期間について、市民全体で工夫して、助け合って我慢してやっていこうという空気をみんなで作っていかなければならない。そうでないと使えない三年間が重くのしかかってきてしまう。状況をわかってもらえるように説明し、いろんなホールに呼びかけていかなければならない。
- ・ 三年間使えないとなると地域全体の文化的な影響が非常に大きいと思う。いろいろな知恵を出して休館期間を縮小できるよう考えてもらいたい。

その他意見

- ・ 音響、残響時間は、素材をどうするかで音の響きが違ってくる。合唱、吹奏楽はある程度の残響が必ず必要だが、県内で一番ひどい残響の県民会館では、上手なところも下手に聞こえる。そういうホールは作ってほしくない。福島には残響が二秒半の音楽専用ホールがあるが、音楽以外には一切使えない。このようにホールによっていろいろ特徴があるので、希望ホール以外のところも参考にしてほしい。
- ・ 建てることにお金を費やし、建てただけで付帯設備を何も買えないとなると運営がマイナスになってしまうので十分に検討してほしい。
- ・ どういうレベルのホールで、どういう音が出るのか、また、来たお客さんがいい

ホールだと言ってくれるかどうかはとても大事なこと。今の基本スタンスは「酒田を参考にして、それをちょっと良くした」ものと思うが、今度はまったく別のスタンスで鶴岡の文化会館を作ってもらいたい。

- ・ 二年半の休館については我々も工夫しなければならない。出来上がったものを作り直すのは無理なので、先を見通した作りが大事。いろんな分野からいろんな専門家の意見を聞いて建ててほしい。
- ・ 面積的な部分の制約があると思うが、アートフォーラムとの物理的な面も含めての一体化、つながりも視野に入れて考えられれば、柔軟な対応ができる可能性があると思う。フォーラムの部分を音がもれないように改築するなどして、たとえば連絡通路で繋いで、ひとつの総合文化施設と位置づけて一体的に整備し、有効に活用していくことができれば、待機場所やリハーサル室がないときに融通を利かせられる。発想が行き詰るときにはそういったオプションも考えられるといい。繋げてひとつにすれば管理運営コストも抑えられるのではないかな。
- ・ 地下一階にして道路際に作って、アートフォーラムと地下で繋げるなどいろいろ考えられる。そうすれば休館期間も縮小できるのでは。
- ・ 予算などいろんな条件制約があっても、できれば半端なものではなく、立派なものを建ててほしい。世界的なオペラがくるとなれば遠くからもお客様が来ることも期待される。そういう投資は鶴岡の活性化につながる。鶴岡に文化会館ありというような、個性的で贅沢なホールを希望する。
- ・ デザインにはお金をかけられないかもしれないが、どんなシチュエーションにもあう柔らかさがあるといいと思う。
- ・ 最近アートフォーラムや慶応などの四角い建物に、致道館が押され気味な感じがするので、外観に柔らかさがあるといいと思う。